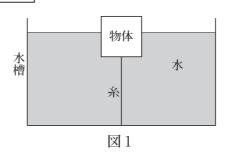
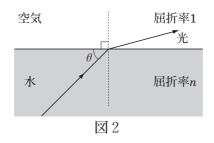
〔問1〕 比	熱が 4.0 J/(g·K), 温度	が 20℃,質量が 200g	の液体がある。これに ,温
度が	60℃ の同じ液体を混合	したところ、全体の温	度が 28℃ になった。液体
の間	だけで熱が移動したと	すると, 混合した 60℃ (の液体の質量は何gか。次
O(1)	~⑥の中から最も適切	なものを 1 つ選びマーク	プレなさい。 1 g
① 10	2	20	③ 25
40	5	50	6 80
〔問2〕 1	分あたりに 1.8×10 ⁶ J の)熱量を供給されて 9.0	×10³ W の仕事率で仕事を
する	熱機関がある。この熱	機関の熱効率はいくられ	か。次の①~⑥の中から最
も適	切なものを 1 つ選びマ	ークしなさい。 2]
① 0.1	10 ②	0.20	③ 0.30
(4) 0.4	40 (5)	0.50	(6) 0.60

[問3] 図1のように、細くて軽い糸で物体と水槽の底面を結んだところ、物体は 一部が水面上に出て静止した。物体の水面上に出た部分の割合は40%で、 水の密度は1.0×10³ kg/m³,物体の密度は2.0×10² kg/m³,物体の体積は $2.0 \times 10^{-5} \,\mathrm{m}^3$. 重力加速度の大きさは $9.8 \,\mathrm{m/s}^2$ である。このとき、糸の張力 の大きさは何Nか。下の①~⑥の中から最も適切なものを1つ選びマーク しなさい。 3



- (1) 3.9 × 10⁻²
- (2) 7.8 × 10⁻²
- $(3) 1.6 \times 10^{-1}$

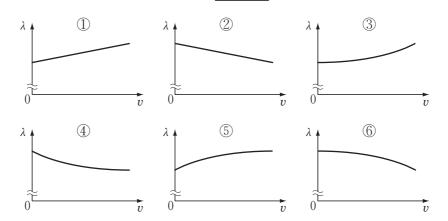
- (4) 3.9 × 10⁻¹
- (5) 7.8 × 10⁻¹
- (6) 1.6
- [問4] 図2のように、水中から発せられた光が空気中に屈折して進んでいる。空 気の屈折率を 1. 水の屈折率を n(n>1) とする。いま、図 2 の水中を進む 光と水面のなす角 θ を $\theta = \theta_0$ より小さくすると、光は水中から空気中に出 なくなった。このとき、 θ_0 とnの関係はどのようになるか。下の①~⑥の 中から最も適切なものを1つ選びマークしなさい。 4



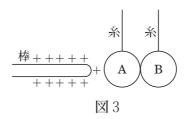
- ① $\cos \theta_0 = n$
- ② $\sin \theta_0 = n$
- (3) $\sin(\theta_0 90^\circ) = n$

- (4) $\cos \theta_0 = \frac{1}{n}$ (5) $\sin \theta_0 = \frac{1}{n}$ (6) $\sin (\theta_0 90^\circ) = \frac{1}{n}$

[問5] 音源が一定の振動数の音を発しながら速さvで観測者から遠ざかっている。 観測者は静止している。この観測者が聞く音の波長 λ と音源が遠ざかる速さ vの関係を表すグラフはどのようになるか。次の① \sim ⑥の中から最も適切な ものを1つ選びマークしなさい。 5

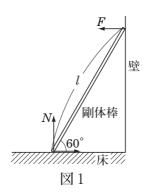


[問6] 図3のように、帯電していない2つの同じ導体球A、Bを絶縁体でできた 糸でつり下げて接触させ、左側から導体球Aに正電荷をもつ棒を近づけた。 このとき、導体球A、Bに現れる電荷はどのようになるか。下の①~⑥の中 から最も適切な組み合わせを1つ選びマークしなさい。 6



	導体球Aに現れる電荷	導体球 B に現れる電荷
1	正電荷	電荷は現れない
2	負電荷	電荷は現れない
3	正電荷	負電荷
4	負電荷	正電荷
(5)	正電荷	正電荷
6	負電荷	負電荷

[問1] 図1のように、長さl、質量Mの細くて一様な剛体棒が壁に立てかけら れて静止している。壁は鉛直でなめらかであり、床は水平で粗い。剛体棒は 床と 60° の角をなしていて、剛体棒の重心はその中央にある。重力加速度の 大きさをgとする。



(1) 図1のように、剛体棒が壁から受ける垂直抗力の大きさを F、床から受ける 垂直抗力の大きさをNとする。F, Nはそれぞれいくらか。次の①~⑥の中か ら最も適切なものを1つずつ選びマークしなさい。F= 7

 $N = \boxed{8}$

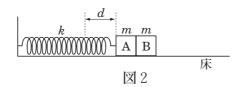
- ① $\frac{\sqrt{3}}{6}Mg$ ② $\frac{1}{2}Mg$ ③ $\frac{\sqrt{3}}{3}Mg$

- $\bigcirc 3Mg$

(2) 図1で剛体棒が床から受ける静止摩擦力は最大摩擦力に等しいとすると、剛 体棒と床の間の静止摩擦係数はいくらか。次の①~⑥の中から最も適切なもの を1つ選びマークしなさい。

[問2] 図2のように、水平でなめらかな床上で、ばね定数 k の軽いばねの一端を固定し、ばねの他端に質量 m の物体 A をつなぎ、物体 A の右側に質量 m の物体 B を置いた。このとき、ばねは自然長で、物体 A 、B は接触して静止していた。

この状態から、物体Bを左向きにゆっくり手で押してばねをdだけ縮め、静かに手をはなした。



- (1) ばねを d だけ縮めるのに手がした仕事はいくらか。次の①~⑥の中から最も適切なものを 1 つ選びマークしなさい。 10
- ② $\frac{1}{2}kd^2$
- $3 kd^2$

- \bigcirc $\frac{1}{4}kd$
- \bigcirc $\frac{1}{2}kd$

- (6) *kd*
- (2) 手をはなした直後に一体となって動き始めた物体A, Bの加速度の大きさはいくらか。次の①~⑥の中から最も適切なものを1つ選びマークしなさい。

11

① $\frac{km}{d}$

 \bigcirc $\frac{km}{2d}$

 $3 \frac{kd}{m}$

 \bigcirc $\frac{kd}{2m}$

 \bigcirc $\frac{m}{kd}$

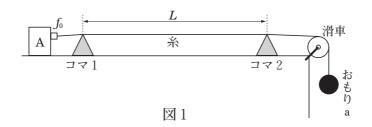
 \bigcirc $\frac{m}{2kd}$

- (3) 手をはなしてから一体となって動き始めた物体A.Bは、ある位置で互いに はなれた。物体A、Bがはなれたあとの物体Bの速さvはいくらか。次の①~ ⑥の中から最も適切なものを1つ選びマークしなさい。v = 12
 - ① $d\sqrt{\frac{2k}{m}}$

- (4) 物体A、Bがはなれたあと、物体Aは左右に振動した。この振動でのばねの 自然長からの縮みの最大値は、vなどを用いてどのように表されるか。次の ①~⑥の中から最も適切なものを1つ選びマークしなさい。 13
 - ① $\sqrt{\frac{mv}{k}}$
- \bigcirc $\sqrt{\frac{2mv}{k}}$

|||| 波動に関する次の[**問1**]・[**問2**]に答えなさい。(22点)

[問1] 図1のように、糸の端を装置Aにつなぎ、なめらかな滑車に通して糸の他端におもり a をつなぐ。装置Aで糸を振動数 f_0 で振動させたところ、コマ 1 、2の間に腹が 2 つの定常波が生じた。コマ 1 、2 の間隔はL である。



- (1) このとき、糸を伝わる波の速さはいくらか。次の① \sim ⑤の中から最も適切な ものを 1 つ選びマークしなさい。 14
 - ① $\frac{2L}{f_0}$

② $\frac{L}{f_0}$

 $3 2f_0L$

- (2) 装置Aを操作して糸を伝わる波の振動数を変化させた。コマ1,2の間に腹が3つの定常波が生じているとき、糸を伝わる波の振動数はいくらか。次の①~⑤の中から最も適切なものを1つ選びマークしなさい。 15
 - ① $\frac{1}{3}f_0$
- ② $\frac{1}{2}f_0$

 $3 \frac{2}{3} f_0$

 $(4) \quad \frac{3}{2}f_0$

(5) 2f

(3) 装置 A を操作して糸を伝わる波の振動数を f_0 に戻した。そして、おもり a をおもり b に取りかえたところ、コマ 1、2 の間に腹が 1 つの定常波が生じた。おもり b の質量はおもり a の質量の何倍か。次の①~⑤の中から最も適切なものを 1 つ選びマークしなさい。ただし、おもりの質量を m とすると、糸を伝わる波の速さ v は $v = k\sqrt{m}$ (k: 定数)と表され、 \sqrt{m} に比例する。

16 僧

 $\bigcirc \quad \frac{1}{2}$

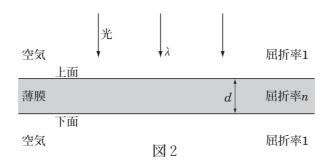
② $\frac{3}{2}$

3 2

4 3

(5) 4

[問2] 図2のように、一定の厚さdの薄膜が空気中に水平に置かれている。空気中から鉛直下向きに、空気中での波長が λ の平行光線を薄膜に入射して上から見たところ、薄膜の上面で反射した光と下面で反射した光が干渉して強め合っていた。空気の屈折率を1、薄膜の屈折率をnとする。



- (1) 薄膜中での光の波長はいくらか。次の①~⑤の中から最も適切なものを 1 つ 選びマークしなさい。 17
 - ① \(\lambda \)

- ② $(n-1)\lambda$
- (3) $n\lambda$

- $4) \frac{\lambda}{n-1}$
- \bigcirc $\frac{\lambda}{n}$
- (2) 薄膜の上面で反射した光と下面で反射した光の光路差(光学距離の差)はいくらか。次の①~⑥の中から最も適切なものを1つ選びマークしなさい。

18

① 2nd

- (2) 2(n-1)d
- (3) nd

- 4 (n-1)d
- \odot $\frac{2d}{n}$

- \bigcirc $\frac{d}{n}$
- (3) 薄膜を少しずつ厚くしていったところ,反射光は強め合わなくなったが,a だけ厚くしたときに再び強め合った。a はどのように表されるか。次の①~⑤ の中から最も適切なものを 1 つ選びマークしなさい。a = 19
 - ① \(\lambda \)

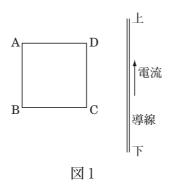
- $2 \frac{\lambda}{2n}$
- $3 \frac{\lambda}{n}$

 \bigcirc $n\lambda$

⑤ 2*n*λ

W 電気と磁気に関する次の[**問1**]・[**問2**]に答えなさい。(18点)

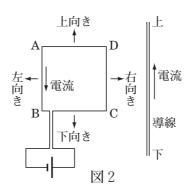
[問1] 図1のように、十分に長い直線状の導線に上向きの電流を流し、導線と同じ平面内に正方形コイル ABCD を導線と辺 AB が平行になるように固定する。



(1) 導線を上向きに流れる電流を増加、または減少させる。このとき、正方形コイル ABCD に流れる誘導電流の向きはそれぞれどのようになるか。次の①~⑥の中から最も適切な組み合わせを1つ選びマークしなさい。 20

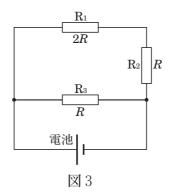
	上向きの電流が増加	上向きの電流が減少
1	A→B→C→D→Aの向き	A→B→C→D→Aの向き
2	A→B→C→D→Aの向き	A→D→C→B→Aの向き
3	A→B→C→D→Aの向き	流れない
4	A→D→C→B→Aの向き	A→B→C→D→Aの向き
5	A→D→C→B→Aの向き	A→D→C→B→Aの向き
6	A→D→C→B→Aの向き	流れない

(2) 導線に流れる電流を上向きで一定の大きさにして、図 2 のように正方形コイル ABCD に $A \to B \to C \to D \to A$ の向きの一定の電流を流した。導線を流れる電流がつくる磁場から正方形コイル ABCD の辺 AB、辺 CD が受ける力はそれぞれ図中の右向き、左向き、上向き、下向きのいずれの向きか。下の①~⑥の中から最も適切な組み合わせを 1 つ選びマークしなさい。 21



	辺 AB	辺 CD
1	右向き	右向き
2	右向き	左向き
3	左向き	右向き
4	左向き	左向き
(5)	上向き	下向き
6	下向き	上向き

[問2] 図3のように、抵抗値が2R, R, R の抵抗 R_1 , R_2 , R_3 と起電力が一定 の電池からなる回路がある。



- (1) 抵抗 R₁, R₂, R₃ の合成抵抗はいくらか。次の①~⑤の中から最も適切なも のを1つ選びマークしなさい。 22
 - ① $\frac{1}{2}R$ ② $\frac{2}{3}R$ ③ $\frac{3}{4}R$ ④ R ⑤ 4R

- (2) 抵抗 R_1 を流れる電流の大きさを I_1 , 抵抗 R_3 を流れる電流の大きさを I_3 と する。 $\frac{I_1}{I_3}$ はいくらか。次の①~⑤の中から最も適切なものを1つ選びマークしなさい。 23

 - ① $\frac{1}{3}$ ② $\frac{1}{2}$ ③ $\frac{2}{3}$ ④ 1 ⑤ 3

- (3) 抵抗 R₃ を抵抗 R₄ に取りかえたところ、抵抗 R₁ と抵抗 R₄ の消費電力は等 しくなった。抵抗 R4 の抵抗値はいくらか。次の①~⑤の中から最も適切なも のを1つ選びマークしなさい。 24

- ① $\frac{2}{9}R$ ② $\frac{2}{3}R$ ③ $\frac{3}{2}R$ ④ 4R ⑤ $\frac{9}{2}R$